

区分 IoTを活用した分野

「NEXT ENGINEERING - IoT × デザイン思考ワークショップ」

(開発した訓練の特徴等)

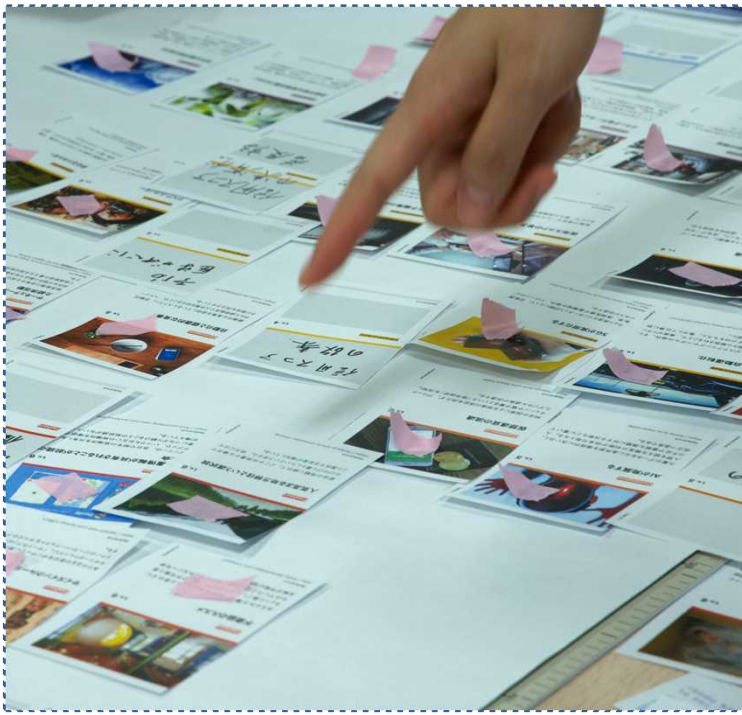
訓練の内容: デザイン思考の理論・手法を用いて、IoTを活用した新規事業を構想し、アイデア検証するまでのプロセスを座学でとワークショップを通して体験・学習する。

訓練の対象となる業種・職種等:

主に製造業の分野で新規事業構想等に関心があるエンジニア職(現場リーダークラス)を想定。自ら意思を持って新規事業構想を推進できるマインドセットの醸成を促すことを目的とする。

(受講のメリット)

- ・デザイン思考の基本的なプロセスに加えて、昨今、新規事業やイノベーション創出の分野で関心が高い「ビジョン構想」のプロセスを体験できる。



(実施した時の環境等)

訓練の内容: ワorkshop形式による全5日間のカリキュラム。※今回は4日間に短縮して実施

募集期間 : 2019年12月25日より募集開始(定員になり次第終了)

応募人数 : 20人

受講人数 : 20人(2~3名欠席者あり)

受講日時 : 2020年1月17日(金)、1月24日(金)、1月30日(木)、1月31日(金)の計4日間(いずれも10:00~18:00)

受講料 : 今回は無料開催

社会人受講生のための配慮: 受講者どうしのSNSコミュニティを開設して、受講後も意見交換や質疑応答が気軽に行えるように配慮した。

区分 IoTを活用した分野

(訓練を実施する上で注意する点)

訓練の内容:

専門的かつ抽象的な内容のワークが多いため、座学では事例を交えて紹介したり、説明や指示をできるだけ具体的に行うよう配慮が必要。

訓練時間数:

人によってワークの進み具合に差が生じがちなので、講師以外のファシリテーターの人数を増やして手厚くサポートできるように留意。

(訓練を実施する上で推奨される取り組み事例)

受講者コミュニティの開設: 開講期間中(終了後も)は講師と受講者によるSNSグループを開設したことで気軽に質疑応答や意見交換を行えた。

ツールキットの配布: 講座で使用した各種ツールを配布して受講者がそれぞれの職場に持ち帰って実践できるようにした。



(受講者等からの声)

- ・デザイン思考ワークを初めて体験出来たのでとても参考になりました。これらのフレームワークを次は実務に生かして行きたいと思います。
- ・ユーザー視点に立ち返って考える貴重な時間が、企画業務では重要な根幹だと感じました。
- ・ブラッシュアップの時間を多くとってもらいアイデアを煮詰めることができました。アイデアを何かにかせる、次のステップがあると嬉しいです。

(受託事業者)株式会社コンセント

(詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP: URL.....https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/program_development_text.html#IoT
厚生労働省人材開発統括官付参事官室(人材開発政策担当)政策企画室事業係 03-5253-1111(内線5648)

(授業の風景等)

